

堺市（近畿ブロック）

【計画期間 平成27年4月～32年3月】

- ・中世に海外貿易の物資集散との拠点として発展、防衛のため濠を巡らせた環濠都市が形成され、近世初頭まで自治都市として繁栄。
- ・明治以降、工業都市へと変貌を遂げ、阪神工業地帯の一角を占める。
- ・平成18年に政令指定都市に移行、「新しい自由都市・堺」としてさらなる飛躍・発展を目指した都市づくりを推進。現在、人口約84万人、市域約150km²。

【中心市街地を巡る状況】

- 全国的な景気低迷等の社会経済情勢や郊外型店舗の立地の影響により、集客核となる大規模店舗の撤退が進んでいる。
- マンション開発等により人口が増加傾向にも関わらず、商業関係の指標や歩行者通行量等は減少傾向にある。

【中心市街地に関する指標の推移】

○歩行者通行量

H9:5,398人/日 → H24:3,885人/日
(▲1,513人、▲28%)

○小売業年間販売額

H9:964億円 → H24:394億円(▲570億円、▲59%)

【目指す中心市街地像】

人が集い 賑わいと魅力あふれる「歴史文化のまち・堺」の玄関づくり

目標	指標	現況値	目標値
まちの活力の源となる来街者の増加	定期利用者を除く 駅乗降客数	41,925人/日 (H24年度)	43,900人/日 (H31年度)
まちなかの回遊性向上による賑わい創出	歩行者通行量	3,885人/日 (H24年度)	4,390人/日 (H31年度)
商業の魅力向上による賑わい創出	空き店舗等の率	17.8% (H26年)	11.1% (H31年)

まちの活力の源となる
来街者の増加

まちなかの回遊性向上による
賑わい創出

商業の魅力向上による賑わい創出

【主要事業】

- ・市民会館建替え事業
- ・市民交流広場整備事業
- ・大浜北町市有地活用事業
- ・博愛ビル活用事業
- ・大浜体育館建替え(武道館併設)事業
- ・堺市文化観光拠点(さかい利品の社)運営事業
など

【主要事業】

- ・市民会館建替え事業(再掲)
- ・堺東駅南地区第一種市街地再開発事業
- ・市民交流広場整備事業(再掲)
- ・大浜北町市有地活用事業(再掲)
- ・博愛ビル活用事業(再掲)
- ・大浜体育館建替え(武道館併設)事業(再掲)
- ・堺市文化観光拠点運営事業(再掲)
など

【主要事業】

- ・堺東駅南地区第一種市街地再開発事業(再掲)
- ・空き店舗活用促進事業
- ・都心地域業務系機能集積促進事業

など

堺市中心市街地活性化基本計画の事業概要

まちの活力の源となる来街者の増加

①市民会館建替え事業

老朽化した市民会館を建替え、新しい文化芸術の創造・交流・発信の拠点として整備



②市民交流広場整備事業

市の玄関口となる堺東駅前においてイベントの開催等多目的な活用が可能な広場を整備



③大浜北町市有地活用事業

堺旧港地域の活性化の中心となる大浜北町において、民間活力を活かし、海辺にふさわしい賑わい施設を整備

まちなかの回遊性向上による賑わい創出

④堺市文化観光拠点(さかい利晶の社)運営事業

特色ある歴史文化の魅力を広く発信し、文化振興や観光集客に資する施設の運営と、周辺のまちづくり活動との連携を通じて相乗的な活性化を図る

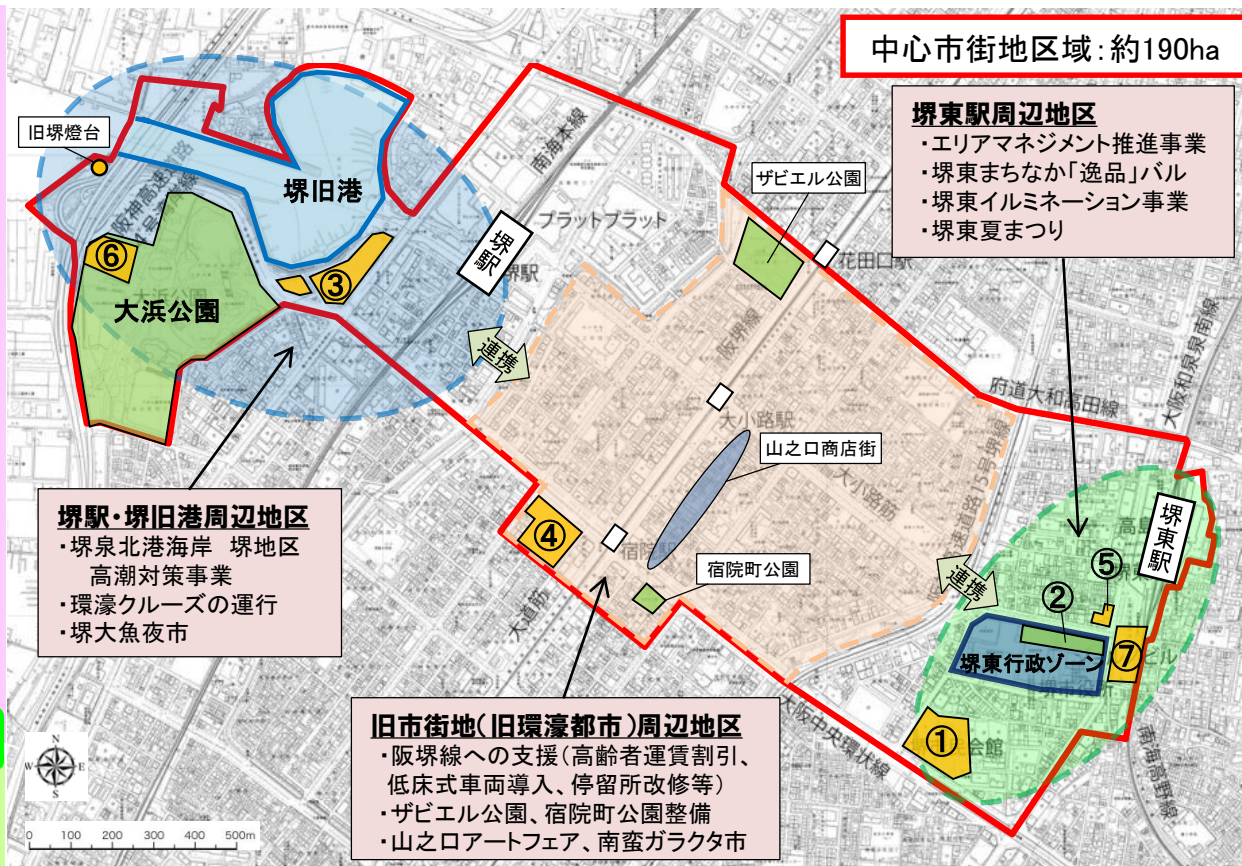


⑤博愛ビル活用事業

中心市街地整備推進機構である堺市住宅供給公社所有のビルを建替え、堺東駅前の賑わい創出に資する施設として整備

⑥大浜体育館建替え(武道館併設)事業

市民が安全・快適にスポーツを親しめる場を提供し、併せて武道の拠点となる武道館を整備



商業の魅力向上による賑わい創出

⑦堺東駅南地区第一種市街地再開発事業

老朽化したジョルノビルを建替え、商業施設に加え、立地を活かした都市型住宅の供給による居住機能や公益施設整備による交流機能の充実を図る



⑧空き店舗活用促進事業

商店街等が、地域ニーズを調査分析し、主体的に取り組む新規テナント誘致活動や、空き店舗等でのコミュニティ活性化事業等を促進

⑨都心地域業務系機能集積促進事業

業務系機能の集積を促進するため、都心地域内の特定地区に事業所等を新設または移転する場合に賃料の一部を補助